

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

ネット社会における偽・誤情報の対策経費、鳥取大学と連携した教員育成・確保の経費などを含めた「令和8年度鳥取県一般会計予算」など28議案を慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

なお、当初予算の私立中学就学支援金の執行にあたり、応能負担の観点から、所得の上限・支給額を適切に見直すこと。更に制度の効果及び副作用を検証し、令和9年度に向けて制度全体を見直すとともに、県外生への支援のあり方や公立中学校への影響を踏まえた将来の教育体制の在り方の整理、国への制度化及び必要な財源措置を求める附帯意見を付すことを決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

県・市町村が拠出する基金を活用して犯罪被害者へ支援を行う全国初となる「鳥取県犯罪被害者等に対する支援金の交付に関する条例」や、従業員の育児参加を促す休暇など企業の子育て支援環境整備への支援、性暴力から子どもを守る日本版DBS制度施行に伴う対策経費、介護職の魅力発信や外国人材受入れなど介護・障がい福祉人材の参入促進対策、医療・福祉・保育施設等の物価高騰対策支援等を含む「令和8年度鳥取県一般会計予算」のほか20議案について、いずれの議案も原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

また、新たに提出された保育に関する陳情1件を審査し、趣旨採択すべきものと決定した。

農林水産商工常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願）

商工分野では、国が掲げる「地域未来戦略」に呼応した地域産業クラスター形成を図り、地域経済の成長・発展を推進する事業や、県内企業が先進分野に挑戦する高付加価値型ものづくり産業を育成する事業など、農林水産分野では、新規就農者の確保を支援する事業や、ツキノワグマ等の総合対策などを含む議案第1号「令和8年度鳥取県一般会計予算」をはじめとする計22議案の審査を行い、いずれも原案どおり可決又は承認すべきものと決定した。

また、新規提出の「政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願」について審査し、不採択すべきものと決定した。

地域県土警察常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

1月に発生した地震により被災した公共土木施設の災害復旧などの専決処分のほか、国内外からの観光誘客の推進、県立美術館のコレクション整備、10月に開催される「ぼうさいこくたい」を契機とした地域防災力の向上、来年のワールドマスターズゲームズに向けた開催準備等を含む「令和8年度鳥取県一般会計予算」など12議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情1件を不採択、継続審査中の陳情1件を研究留保とすべきものと決定した。